

令和7年度第5回 羽村市立武蔵野小学校コミュニティ・スクール委員会会議録

1 日 時	令和8年2月24日(火曜日)午後5時
2 場 所	羽村市立武蔵野小学校 会議室
3 出席者	<p>会長 大橋 徳久 (西東京リサイクルセンター 取締役) 校長 府金 博之</p> <p>副会長 山田 竜也 (羽村市武蔵野小学校 PTA 前会長) 副校長 植村 友博</p> <p>委員 松崎 博満 (エコネットはむら 会長)</p> <p>山本 一代 (チューリップ保育園理事長)</p> <p>推進委員 松原 邦宜 ((株)ミタカロジスティクス 取締役) (敬称略)</p>
4 欠席者	なし
5 議題	<p>(1) 令和7年度学校経営報告</p> <p>(2) 令和8年度教育計画</p> <p>(3) 本年度の武蔵野小コミュニティ・スクール委員会の活動の振り返りと今後の活動</p>
6 傍聴者	無し
7 配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和7年度羽村市立武蔵野小学校 学校経営報告書(学校評価報告表)</li> <li>・ 令和7年度羽村市立武蔵野小学校 保護者アンケートの結果</li> <li>・ 令和8年度羽村市立武蔵野小学校 学校経営方針(案)〈グランドデザイン〉</li> <li>・ 令和8年度羽村市立武蔵野小学校 教育課程届</li> </ul>
8 会議の内容	<p>(1) 令和7年度学校経営報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 肯定的評価の全体の割合が84.5%で、13項目のうち12項目で市の平均を上回っている点については、概ね良い方向で学校が動いている。子供の家庭学習の習慣化は改善しつつあるが、引き続き武蔵野小の課題であると考えられる。家庭学習について、保護者の協力が得られてきていることが、数字からも明確になっている。</li> <li>○ 学校評価から図書館を活用した探究学習及び図書館利用について課題があることが浮き彫りになった。また、自分が学級や学校のために役立っていると感じているかには課題があり、子供たちが自信をもって、活動できるように指導していくことが大切だと感じている。</li> </ul> <p>(2) 令和8年度教育計画</p> <p>特に、大きな変更点等は無く全会一致で承認となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 「<u>つながる</u>」を大切に<u>する学校づくり</u></li> <li>◎ 物事を改善するために、<u>自分が変わる・原因を外に求めない姿勢を大切に</u>する学校づくり</li> <li>◎ <u>むさしのリーダーシップ(5つの習慣)を土台にした学校づくり</u></li> </ul> <p style="text-align: right;">等</p> <p>(3) の内容については以下の通り</p>

(3) 本年度の武蔵野小コミュニティ・スクール委員会の活動の振り返りと今後の活動

【武蔵野小学校の子供たちが輝くために、一年間声かけを続けながら、活動を進めてきた実践内容を冷静に振り返り、課題を受け止め、来年度に結び付けていく話し合い】

**大切なポイント** [学校・保護者・地域に対し、子供たちが輝くために多くの取り組みを行っている良さがよくわかり、さらに広がっていくような手立てをとっていけるように、前向きに話し合いを進める。]

“むさしの”夜の学校探検・キャンプファイヤーの集いについて

子供たちの喜び・保護者の協力・様々な地域からの協力等、評価が高く、次年度継続実施を望む声が大変多い。企画の形態については考える余地があるが、来年度も確実に実施していくことにしましょう。

保護者・地域による本の読み聞かせについて

子供たちが興味深く聞き入ってくれる姿は顕著だと思います。

1学期に比べると、2学期に協力して下さる保護者が増えています。来年度も引き続き実施していきたいと思っています。



環境教育の取り組みについて

プール前のパッションフルーツ棚での取り組みの成果を受け、来年度に向け、鉄棒周辺にパッションフルーツ（及びぶどう）棚を作っています。十分な日よけにはならない気もしますが、うるおいのある学校・授業づくりという点から考えても、取り組みを確実に進めていきたいと考えます。

1年生～6年生・むさしの学級における地域人財活用授業の取り組みについて

どの学年・学級の授業を見ても明らかでしたが、保護者・地域の人財協力のある取り組みでは、子供の真剣さ・笑顔・やる気等があふれていました。

各学年・学級の教職員と話しながら、人財を探していったことで、教職員の授業への思いを少しでもふくらませることができたように思います。

武蔵野小学校区からだけで人財を探すのは限界がありますが、羽村市全体から・東京都から・・というように、羽村市内で活動している他学校の活動推進委員や羽村市役所等の協力を得ながら幅を広げることで、『子供たちを大切にしていきたい』という学校教職員のニーズに確実に応えていけると感じました。



来年度も引き続き、学校の授業実践において、地域人財活用等の面で協働を進めていきたいと考えます。

2月28日（土）実施予定の校庭遊び場開放について

どれだけの参加者があるかはわかりませんが、小学生だけでなく、保育園児や親子が一緒等、様々なかたちの参加があると良いなと思います。



少しではありますが、軽食（小さいおにぎりとスープ）を出してみるのはいかがでしょうか。

良いアイデアだと思います。準備等大変でしょうが、よろしくお願いします。

#### 《提案事項Ⅰ》



交通立ち当番への感謝の集い（旗振り）を、今年度最後の取り組みとして実施したいと考えています。

今までずっと長い期間、子供たちの安全確保のためにお世話になってきた皆様に、子供たちの感謝の気持ちが少しでも届くような機会をつくることは大切だと思います。

子供たちに、旗振りをしている様々な方を、今まで以上にしっかりと意識してもらうことは重要だと考えます。

全校児童に意識づけを図る上で、子供たち全員にメッセージカードを書いてもらい、色紙に貼った形式にしたものをプレゼントしたいと思います。学校の全校児童朝会の場を活用させていただこうと考えています。

#### 《提案事項Ⅱ》

本年度地域の皆様にお世話になった様子のプリントを作成し、町内会掲示板に掲示していただくようお願いしたいと思います。

学校内掲示板や学校ホームページ等では、活動の様子をお知らせしてきましたが、より間近で、地域の方々が子供たちのために活躍して下さっている姿を見ていただくことは大切だと思います。地域の皆様も喜んでくださると感じます。

プリントを作成後、町内会長・自治会長を通じて掲示をお願いしていこうと思います。



今年度、地道に取り組みを続けてきたことで、一年間のおおまかな流れは作れたように思います。次年度は活動の基盤を安定化させ、少しでも多くの協力者を得られるように声かけを続けていこうと思います。

また、青少対等、校庭開放ですぐにでも協力できるところを皮切りに、協力体制を徐々に築いていきたいと考えています。

**よろしくお祈いします**

